

2021年5月24日

R&I格付アウトック——消費者金融

1. 決算状況と事業環境

消費者金融専門各社の2020年度営業収益は新型コロナウイルス感染拡大の影響で低調に推移した。外出自粛や営業制限を受けて資金需要が低迷し、収入の不安定化を見越した借り控えもみられたことで営業債権残高が伸び悩んだ。一方、当期利益は経費の減少により増益を確保した。環境変化に応じ広告宣伝費を抑制したことに加え、信用コストが当初の懸念に反して低水準にとどまった。

国内無担保ローン市場は銀行、カード会社や専門などの業態を問わず縮小している。感染拡大から1年が経過し徐々に顧客は戻っているが、断続的な緊急事態宣言のもと市場全体の回復は鈍い状況が続く。ただ、専門は相対的に資金需要の旺盛な顧客を抱えている。特別定額給付金の効果もあり、一時的に増加した短期延滞が落ち着いているほか、返済が進んだことで総量規制や利用枠に対する顧客の借り入れ余力は高まっている。他業態に比べると残高の回復・拡大が早期に進む可能性はある。

2. 格付上の注目点

専門各社の信用力は国内無担保ローンの市場動向とコロナ禍が顧客の信用リスクに及ぼす影響に左右される。集客増に向けて広告宣伝費を増やしていることもあり、新規申込は回復基調にある一方、申し込み顧客の属性悪化などを反映して成約率はコロナ以前よりやや低下しており、成約件数は伸び悩んでいる。長年培ったノウハウに加えコロナ下で得られた知見を生かし、不透明な環境下でも信用コストを抑制しながら営業債権残高を伸ばせるかに注目している。営業収益の大幅な増加に期待できないなかでは経費コントロールの重要性が増す。広告宣伝費に関しても経済動向や費用対効果を見極めた投下が欠かせない。

顧客属性が他業態に比べて低く、資産の質は所得環境や雇用情勢の変化による影響を受けやすい。今後の貸し倒れ増加に備えて引当金を積み増す会社も見られるが、引き続き注意を怠れない。一方で利息返還請求は、特定法律事務所の活動の影響を受けつつも、着実に減少している。こうした傾向が続けば基礎的な利益によるコスト吸収力やリスク耐久力が向上し、信用力の改善につながるため、動向に注目していく。

3. 個別企業の動向と信用力の方向性

SMBC コンシューマーファイナンス (SMBCCF、発行体格付=A+) および新生フィナンシャル (A-) はグループ信用力を起点に評価している。SMBCCFはSMBCグループの戦略のもとベトナムの大手ノンバンクへの出資を発表するなど、グループのコンシューマーファイナンス事業を担う位置付けは明確だ。新生フィナンシャルは、新生銀行 (証券コード:8303、A-) グループにおけるノンバンク事業の重要性を踏まえ、格付を新生銀行と同格としており、当面はこうした判断に変更が生じる可能性は低い。

アコム (8572、BBB+) は三菱UFJフィナンシャル・グループの連結子会社である一方、上場会社で経営の独立性が高いことなどを踏まえ、格付はアコム自体の信用力をベースに評価している。他社と同様にコロナ問題を懸念してきたが、営業基盤や収益・財務の安定感が高く、影響は抑制されている。

大手4社で唯一の独立系であるアイフル (8515、BB、ポジティブ) は銀行によるサポートを強くは織り込めないが、メインバンクとの関係は良好で、調達基盤の多様化も進んでいる。リスク耐久力は格付対比で十分な水準にある。信用コストが安定的に推移し、収益力の向上が進むようなら格上げする。

主任格付アナリスト：肝付 卓也

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html>をご覧ください。